

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 協立電機株式会社

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 雅寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 中木 照雄

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	21,159	2.1	600	△14.7	688	△27.7	458	△22.3
25年6月期第3四半期	20,723	0.3	704	18.8	951	38.1	590	67.1

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 564百万円 (△31.3%) 25年6月期第3四半期 821百万円 (86.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	116.58	—
25年6月期第3四半期	149.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	22,121	7,802	33.9
25年6月期	18,280	7,426	39.1

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 7,507百万円 25年6月期 7,149百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	32.50	32.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,200	3.6	800	24.7	1,000	0.9	500	△16.7	127.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期3Q	4,369,200 株	25年6月期	4,369,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期3Q	454,156 株	25年6月期	402,865 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期3Q	3,934,820 株	25年6月期3Q	3,955,664 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、当期の立ち上がりこそ大規模金融緩和等のアベノミクスが消費等には好影響をもたらしていたものの、製造業の設備投資には繋がらず、好況感が乏しい状況でした。しかし、欧米経済が比較的安定して推移していたのに加え、この第3四半期に入り為替が若干円高方向に進んだにも係わらず、民間企業セクターのマインド改善や消費の拡大、さらにこのところ低調であった国内の設備投資も回復の兆しが見られ、全般的に明るさが増している地合に、平成26年4月1日の消費税率引上げを睨んだ一時的な需要も発生し、久しぶりに活況感が感じられる状態で推移しました。

当社グループとしましては、斯様なビジネス環境下において、この10余年にて中国、東南アジアを中心とした海外ネットワークをフルに活かし、引き続き活発に推移する我が国製造業の製造拠点海外移転による新規設備投資需要を取り込む努力を続けてまいりましたが、当第3四半期連結累計期間は、設備投資が回復傾向にはあるものの全般として製造業の設備投資が不活発で、特に大型のシステム案件が受渡の谷間となり減少していたことから、前年同四半期と比較して増収であるものの利益面では減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は211億59百万円（前年同四半期比2.1%の増）となり、損益面としましては、営業利益が6億円（同14.7%の減）、経常利益が6億88百万円（同27.7%の減）、四半期純利益が4億58百万円（同22.3%の減）となりました。

なお、当社のセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、スマートグリッド規格対応の初めての実用化に成功したPLC技術新製品「Grid・Green」等環境・省エネ関連取引やX線を用いた最新鋭の半導体基板検査装置等で取引を伸ばすことができましたが、当第3四半期連結累計期間が大型海外プロジェクトの受渡の谷間となり海外案件の売上が落ち込んだこと、活発化してきた国内設備投資拡大の動きに合わせた売上の計上もしばらく先になることから、セグメント全体としては減収・減益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は73億81百万円（前年同四半期比12.6%の減）、営業利益は2億4百万円（同50.2%の減）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第3四半期連結累計期間においては試験研究のための科学分析機器や省力化のためのロボット等の取引が伸張し、さらに当事業は商談開始から売上計上までの足が短いものも多いため、このところの設備投資回復の動きの一部が業績に反映され、増収・増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は137億22百万円（前年同四半期比12.2%の増）、営業利益は6億6百万円（同18.2%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は221億21百万円で、前連結会計年度末に比べ38億40百万円の増加となりました。これは主として、年度末要因に加えて消費税引上げ前の駆け込み需要等があり平成26年3月の取引が急伸したことより受取手形及び売掛金が30億63百万円増加したこと、現金及び預金が4億29百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が143億18百万円で、前連結会計年度末に比べ34億65百万円の増加となりました。これは主として、平成26年3月の取引が急伸したことにより支払手形及び買掛金が27億57百万円増加したこと、取引資金の増加に伴う短期借入金の増加等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が78億2百万円で、前連結会計年度末に比べ3億75百万円の増加となりました。これは主として四半期純利益が4億58百万円あったこと、株高によりその他有価証券評価差額金が89百万円増加したこと等の増加要因が、配当を1億21百万円実施したこと等の減少要因を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現下の世界主要国の経済情勢は、米国経済が拡大基調を続けていること、欧州経済も安定を取り戻していること等先進国経済は緩やかに拡大しており「影の銀行」問題という不安要因を抱える中国も経済成長のスピードを落としているものの現状では安定しており、東南アジア等の新興国も各国固有の不安要素を抱えながらも安定的に成長している等、世界経済の概況としては成長のモメンタムは弱いものの緩やかな拡大を続けております。

一方我が国経済の足元は、昨年より消費の拡大に呼応した生産の拡大が続いているにも係わらず生産の拡大が設備投資の拡大に繋がりにくい状況が続いていましたが、ここにきて設備投資にもようやく回復の兆候が出てまいりました。

斯様な環境下、当社グループは我が国製造業の海外への製造拠点移転により発生する新規需要を当社グループの海外子会社ネットワークをフルに活かして積極的に取り込んでおり、近年拠点を開設したベトナムやインドネシアでも取引が順調に拡大しているのに加え、フィリピンにも新規に進出することといたしました。

また、国内においても省エネ・省電力が社会の大きな流れであることから、時流に乗った自社製品の開発を心掛けており、スマートグリッド技術に当社グループが得意とするインテリジェントFA技術を融合させ、電気器具の使用環境により最適な電気使用量を自動調整する「Grid・Green」やNEDOとの共同研究である新エネルギーの発電を行う越波式波力発電装置の開発を行い、各方面から注目されると共に好評を得ています。また、専用機器をインターネット経由でクラウドサーバーに繋ぐことにより遠隔地の情報が画像または計測データという形でユーザーに提供できる、当社で初めてBtoCビジネスモデルに進出した新製品「KDLinX」も本年1月に発売開始以降好評を得ており、加えて最新鋭の画像技術を駆使した半導体基板検査装置も大きな反響を呼んでおり、これらの製品群が今後の業績を確実に押し上げていくものと考えております。

以上により、平成26年6月期の通期業績予想につきましては、平成25年8月9日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	714,723	1,143,855
受取手形及び売掛金	7,929,702	10,993,143
有価証券	796,758	443,181
商品及び製品	338,718	481,263
仕掛品	435,025	419,520
原材料	555,371	666,486
その他	420,146	570,080
貸倒引当金	△60,278	△61,845
流動資産合計	11,130,168	14,655,686
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,338,939	4,459,184
その他(純額)	930,023	945,173
有形固定資産合計	5,268,963	5,404,358
無形固定資産		
	76,502	100,493
投資その他の資産		
投資有価証券	1,298,013	1,409,785
その他	590,302	635,184
貸倒引当金	△83,608	△84,354
投資その他の資産合計	1,804,708	1,960,616
固定資産合計	7,150,174	7,465,467
資産合計	18,280,343	22,121,153
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,929,817	8,686,861
短期借入金	3,300,000	4,033,000
1年内返済予定の長期借入金	27,861	29,022
未払法人税等	230,547	138,393
賞与引当金	115,729	236,194
役員賞与引当金	43,070	—
その他	492,086	506,005
流動負債合計	10,139,111	13,629,476
固定負債		
長期借入金	48,093	22,924
退職給付引当金	142,361	149,903
負ののれん	3,634	908
その他	520,197	515,491
固定負債合計	714,286	689,228
負債合計	10,853,398	14,318,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,832,110	1,834,732
利益剰余金	4,300,465	4,640,237
自己株式	△483,135	△557,716
株主資本合計	7,090,880	7,358,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,679	148,363
その他の包括利益累計額合計	58,679	148,363
少数株主持分	277,384	295,392
純資産合計	7,426,944	7,802,449
負債純資産合計	18,280,343	22,121,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	20,723,658	21,159,916
売上原価	17,486,302	18,039,937
売上総利益	3,237,355	3,119,978
販売費及び一般管理費	2,533,158	2,519,384
営業利益	704,197	600,594
営業外収益		
受取利息	6,126	9,138
受取配当金	15,788	12,155
仕入割引	23,117	24,048
持分法による投資利益	13,962	13,937
負ののれん償却額	2,725	2,725
為替差益	134,866	29,420
雑収入	75,098	18,082
営業外収益合計	271,685	109,508
営業外費用		
支払利息	18,269	14,248
手形売却損	1,509	2,319
売上割引	2,457	2,246
雑損失	1,808	2,960
営業外費用合計	24,043	21,774
経常利益	951,838	688,328
特別利益		
固定資産売却益	232	12,041
投資有価証券売却益	52,511	39,586
保険差益	298	—
事業譲渡益	—	20,000
特別利益合計	53,042	71,627
特別損失		
固定資産除却損	7,432	3,906
固定資産売却損	104	544
その他	14	—
特別損失合計	7,551	4,450
税金等調整前四半期純利益	997,330	755,505
法人税等	387,248	291,354
少数株主損益調整前四半期純利益	610,081	464,150
少数株主利益	19,971	5,423
四半期純利益	590,110	458,727

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	610,081	464,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	211,412	100,486
持分法適用会社に対する持分相当額	136	0
その他の包括利益合計	211,548	100,486
四半期包括利益	821,630	564,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	787,773	548,410
少数株主に係る四半期包括利益	33,857	16,226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,444,546	12,227,439	20,671,985	51,673	20,723,658
セグメント間の内部売上高又は振替高	96,033	80,834	176,868	43,533	220,402
計	8,540,579	12,308,274	20,848,854	95,206	20,944,061
セグメント利益	411,014	512,524	923,538	63,680	987,219

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	923,538
「その他」の区分の利益	63,680
全社費用(注)	△283,022
四半期連結損益計算書の営業利益	704,197

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,381,287	13,722,594	21,103,881	56,034	21,159,916
セグメント間の内部売上高又は振替高	111,144	87,386	198,530	44,542	243,072
計	7,492,431	13,809,980	21,302,411	100,577	21,402,989
セグメント利益	204,788	606,022	810,810	69,928	880,739

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	810,810
「その他」の区分の利益	69,928
全社費用(注)	△280,145
四半期連結損益計算書の営業利益	600,594

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。